

授業シラバス

MC L盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルビジネス概論Ⅰ (ドレス)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 1年
		講師名 (実務経験)	千葉 綾子 (実務経験有 結婚式場衣裳部門勤務経験)
科目時間数 :	8 コマ	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	必修・選択	開講時期 :	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 婚礼衣装業界の幅広い知識を学び婚礼業界で活躍できるようになる。			
【ディプロマポリシーとの関連】 ①. プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている 3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 衣裳の初級の知識を学び必要な幅広い知識(文化、法令、慣習、宗教、儀礼、作法)、専門知識(ブライダルおよびブライダル業界に関すること)を学びお客様への提案につなげることができる。			
【授業における達成課題】 相手に合うドレスを選定し試着を行うことのできる			
	使用教材	出版社	
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 授業内で行う小テストの得点率 (20%) と定期試験得点率 (50%)、並びに受講態度 (30%) を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80%以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	ドレスの知識	ドレスの初級的な知識を学びチェックテストで80%以上取ることができる
2	タキシードの知識	タキシードの初級的な知識を学びチェックテストで80%以上取ることができる
3	和装の知識	和装の初級的な知識を学びチェックテストで81%以上取ることができる
4	試着実習	ドレスのサイズの知識を学び試着させることができるようになる
5	パーソナルカラー	パーソナルカラーについて学び自分のセルフ診断を実施することができる
6	顔骨格の知識	顔骨格について学び自分のセルフ診断を実施することができるようになる
7	コーディネート実践	学んだ知識とスキルを活かしトータルコーディネートを行いプレゼンテーションできるようになる
8	実技試験	期末試験を実施し80%とることができる

授業シラバス

MCL盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルビジネス概論Ⅰ (ビジュアルデザイン)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 1年
		講師名 (実務経験)	菊池 直之 (実務経験有)
科目時間数：	25 コマ	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 実践授業においてオリジナルの商品開発からデザインまで編集ソフトを使用してできるようになる			
【ディプロマポリシーとの関連】 ① プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている 3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 画像配置ソフトイラストレーターを使用しオリジナルのペーパーアイテムのデザインや編集ができるようになる			
【授業における達成課題】 実践授業において必要となるペーパーアイテムのデザイン作成が出来、オリジナルの作品が出来るようになる			
	使用教材	出版社	
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 授業内で行う小テストの得点率（20％）と定期試験得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	イラストレーター起動と作業エリア	イラストレーターの基本操作と機能がある場所を理解し作業を進めることができる
2～3	アートワークの表示とプリント	アートワークの操作方法を学び、作業に合わせて縮小拡大ができ選択ツールを使うことができる
4～5	イラストレーター環境設定	イラストレータのデータの仕組みを理解し、作品に合ったサイズや設定をすることが出来るようになる
6～7	オブジェクトの基本操作	実際に塗りと線やポイントツール、カラー設定など作品に合わせて設定し操作することが出来る。
8～9	基本的な編集操作	カットやペースト、コピーなどの基本操作を理解し、作品に反映することが出来る
10～11	カラー設定の基本操作	カラーパネルによるカラー設定を理解しCMYKとRGBを使い分けることが出来る
12～13	オブジェクト編集基本操作	レイヤーについて理解し、レイヤーごとの編集ができるようになる
15～16	オブジェクト編集組み合わせ編集	クリッピングマスクを理解し、画像をトリミングしたり編集したりできる
17～18	文字編集の基本操作	文字ツールと文字エリアの仕組みを理解し作品の中に文字を組み込むことが出来るようになる
19～20	パスの基本操作	パスを理解し、基本的な描画を描くことが出来るようになる
21	作品制作	これまで学んだことを活かし結婚式におけるオリジナル席次表をデザインすることが出来る
22	作品制作	
23	作品制作	
24	プレゼンテーション	自分の作品について用語を使いながら他者にプレゼンテーションができる。
25	振り返り修正	自分の作品について振り返り修正し、完成することが出来る。

授業シラバス

M C L 盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルビジネス概論Ⅰ (色彩学)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 1年
		講師名(実務経験)	千葉 綾子 (実務経験有 結婚式場勤務経験)
科目時間数:	20 コマ	授業の種類:	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別:	必修・選択	開講時期:	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 ブライダル関連業界におけるコーディネートスキルの向上を目的とし、就業後の活躍を目指す。			
【ディプロマポリシーとの関連】 ① プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している ② 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている ③ 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 ブライダル関連分野で活かせる色彩のコーディネートスキルを身につけ、実践することができる。			
【授業における達成課題】 色彩の基本的知識を身につけ、実践的場面において適切な対応ができる。また色彩検定3級において90%以上合格できる。			
		使用教材	出版社
		色彩検定3級テキスト	色彩検定協会
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 授業内で行う小テストの得点率(20%)と色彩検定得点率(50%)、並びに受講態度(30%)を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80%以上であることも単位取得の条件とする。			
【備 考】			
コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	

1	色彩検定とは	色彩検定の概要説明、及び学習導入：PPカラー、ファッションCDへの応用 過去問題トライテスト
2	光と色	①色はなぜ見えるのか ②眼の仕組み について理解し チェックテストにおいて90パーセント以上の点数が取れる
3	光と色	③人工光 ④混色 について理解し チェックテストにおいて90パーセント以上の点数が取れる
4	色の表示	①色の分類と三属性 ②PCCS ③色名 について理解し チェックテストにおいて90パーセント以上の点数が取れる
5	色相環 トーンマップ	①色相環作成 ②トーンマップ作成 について理解し チェックテストにおいて90パーセント以上の点数が取れる
6	色彩心理	①色の心理的効果 ②色の視覚効果 ③色知覚的効果 について理解し チェックテストにおいて90パーセント以上の点数が取れる
7	色彩調和	①色相から配色を考える ②トーンから配色を考える ③配色技法と演習 について理解しチェックテストにおいて90パーセント以上の点数が取れる
8	色彩調和	
9	色彩調和	
10	ファッションと色彩	①ファッションと色彩 ②コーディネートの実践 ③パーソナルカラーについて について理解しチェックテストにおいて90パーセント以上の点数が取れる
11	インテリアと色彩	①インテリアにおける色彩の役割 ②住まいと色彩・生活と色彩 ③総合チェックテスト について理解しチェックテストにおいて90パーセント以上の点数が取れる
12	過去問題	2015年度色彩検定過去問題にチャレンジし過去問題に慣れ、単元ごとにチェックテスト と解説を行う
13	過去問題	2016年度色彩検定過去問題にチャレンジし過去問題に慣れ、単元ごとにチェックテスト と解説を行う
14	過去問題	2017年度色彩検定過去問題において合格水準140点を60%クリアできる
15	過去問題	2018年度色彩検定過去問題において合格水準140点を70%クリアできる
16	過去問題	2019年度色彩検定過去問題において合格水準140点を80%クリアできる
17	過去問題	2020年度色彩検定過去問題において合格水準140点を90%クリアできる
18	過去問題	2021年度色彩検定過去問題において合格水準140点を全員クリアできる
19	過去問題	ランダムに色彩検定過去問題において合格水準140点を全員でクリアできる
20	検定	検定本番で合格点に到達することができる

授業シラバス

MC L盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルビジネス概論Ⅰ (専攻授業 プランナー)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 1年
		講師名 (実務経験)	市川 貴之 (実務経験有 ブライダル企業勤務経験有)
科目時間数：	10 コマ	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・ <u>選択</u>	開講時期：	前期・ <u>後期</u> ・集中
【授業の目的・ねらい】 ブライダル業界の幅広い知識を学び婚礼業界で活躍できるようになる。			
【ディプロマポリシーとの関連】 ① プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている 3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 プランナー業務の初級の知識を学び必要な幅広い知識(文化、法令、慣習、宗教、儀礼、作法)、専門知識(ブライダルおよびブライダル業界に関する事)を学びお客様への提案につなげることができる。			
【授業における達成課題】 相手に合う結婚式ををプランニングし提案を行うことのできる			
	使用教材	出版社	
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 授業内で行う小テストの得点率（20％）と定期試験得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	オリエンテーション	ブライダル全体の講話を聴き授業の進行や意味を理解することができる
2～3	ブライダル業界の企業分析	幅広い分野のブライダル関連企業を提示しブライダル業界の全体像を把握することができる
4～5	自己分析をしてみよう	自己分析を行い、自分の能力を活かせそうな分野を知り就職活動に使える分析シートを作成することができる
6	先輩プランナーとお話してみよう	現役のプランナーをゲストに招き実際の業務について講話していただきそれに対して自分の意見をレポートにまとめることができる
7	ブライダル業界について知ろう	幅広い分野のブライダル関連企業を提示しブライダル業界の全体像を把握することができる
8	これからの業界はどうなる	
9	市場規模について考えてみよう	
10	期末テスト	80%以上の点数がとれる

授業シラバス

M C L 盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルサービス実務Ⅰ (フラワーアレンジメント)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 1年
		講師名 (実務経験)	木村 公子 (実務経験有 生花店経営経験)
科目時間数：	8 コマ	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 フラワーアレンジメントをの技術を習得しブライダル業界で活かせるようになる。			
【ディプロマポリシーとの関連】 ① プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている 3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 フラワーアレンジメントを行うための基本技術を学び、実践することができる。 自らデザインを考え作成することができる			
【授業における達成課題】 フラワーの知識を付け正しいやり方でアレンジメントができる。 お客様に合わせたご提案ができる。			
	使用教材	出版社	
	教員自作テキスト		
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 授業内で行う小テストの得点率（20％）と定期試験得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	ブライダルフラワーの必要性	授業全体の目標を確認する。 結婚式におけるフラワーの役割を理解することが出来る。
2	花の素材、種類、色	花の種類、季節の花を学び、花の見え方、花がもたらす影響を学び説明することができる。
3	会場装花 (ゲストテーブル)	ゲストテーブルのフラワーアレンジメントを学びチームで実践し完成することができる。
4	装飾アイテム	花を使った結婚式の装飾アイテムを学び実践することができる。
5	会場装花 (メインテーブル)	メインテーブルのフラワーアレンジメントを学びチームで実践し完成することができる。
6	ブーケ	新婦が持つブーケ、新郎が持つブートニアの種類の学習。 新郎新婦の衣装に合わせたブーケのご提案ができるようになる。
7	ブートニア コサージュ	
8	ブーケ作成	ブーケの作成を学ぶ。 それぞれのブーケ作りのコツを覚え一人で作成できるようになる。

授業シラバス

MC L盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルサービス実務 I (MCスキル)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 1年
		講師名 (実務経験)	村井 由紀子 (実務経験有 アナウンサー実務経験)
科目時間数 :	10 コマ	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	必修・選択	開講時期 :	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 ブライダル業界におけるMCスキルを学び、活躍を目指す			
【ディプロマポリシーとの関連】 ① プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている 3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 ブライダル業界におけるMCスキルを通して、人に接する、伝えることの大切さを学び実践できるようになる			
【授業における達成課題】 ブライダル業界におけるMCスキルを通して、人に接する、伝えることの大切さを学び実践できるようになる			
	使用教材	出版社	
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 授業内で行う小テストの得点率（20％）と定期試験得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	オリエンテーション	授業全体の目標を確認する。司会者の仕事を理解できる。
2	司会者の心構え・声の基本	結婚式の司会者の仕事の大切なこと・注意点を学ぶ。発声の仕組みを理解し実演できるようになる。
3	言葉遣い・敬語・アクセント	司会者として大切な言葉遣い、敬語表現を学び実演できるようになる。
4	マイクの使い方・司会概論	声の通りやすいマイクの持ち方を知る。司会の基本的なテクニックを実演できるようになる。
5	ブライダル用語・忌み言葉	ブライダル業界の専門用語や忌み言葉を学び、それを踏まえて話すことができる。
6	婚礼スケジュール・打合せのコツ	披露宴前のスケジュールを学び、新郎新婦への理解を深める。打合せの際に大切なことを学び実践できる。
7	人の話を聞く・人に話す	聞き上手、話し上手になるためのスキルを学び実践できる。
8～9	ゲストとしてのマナー・雑学	披露宴におけるゲストとしてのマナーを学ぶ。MCとして話に深みを出す雑学を学び説明できるようになる。
10	実技テスト	正しい表現で司会進行を進めることができる。

授業シラバス

MC L盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルサービス実務Ⅰ (ヘアアレンジ)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 1年
		講師名 (実務経験)	漆原 清香 (実務経験有 美容院勤務経験)
科目時間数：	10 コマ	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 ブライダル業界におけるヘアメイクを学び、活躍を目指す			
【ディプロマポリシーとの関連】 ○ 1. プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている 3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 衣装やお客様に合わせたヘアセットを理解し自分で考え実践できるようにする			
【授業における達成課題】 ウェディングドレス、カラードレス、和装に合うヘアセットを学び、最終的にお題に対して考え実践できるようになる			
	使用教材	出版社	
	ヘアセット道具		
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 授業内で行う小テストの得点率（20％）と定期試験得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	オリエンテーション	授業全体の目標を確認する。ブライダル美容の仕事を理解できる。
2	ウェディングドレスヘアセット①	ウェディングドレスに合うヘアセットを学びお客様に合わせてご提案できるようになる
3	ウェディングドレスヘアセット②	前回学んだヘアセットを自身でできるようになる
4	カラードレスヘアセット①	カラードレスに合うヘアセットを学びお客様に合わせてご提案できるようになる
5	カラードレスヘアセット②	前回学んだヘアセットを自身でできるようになる
6	和装ヘアセット	和装に合うヘアセットを学びお客様に合わせてご提案できるようになる
7	コンテスト準備①	ペアになりお互いにヒアリングしお客様のご要望を聞き出せるようになる
8～10	コンテスト	コンテスト。お客様へのヒアリング、ご提案、実践と一連の流れで行うことができる

授業シラバス

MCL盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルプロジェクトⅠ (プロジェクト企画)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 1年
		講師名 (実務経験)	千葉 綾子 (実務経験有 結婚式場勤務経験)
科目時間数：	60 コマ	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 模擬結婚式、イベント企画を通して、学習成果の振返りをを行いながら、就業先でも活躍することができる。。			
【ディプロマポリシーとの関連】 1. プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している ② 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている ③ 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 他者との関わり合いのなかで、自分の意見を表現できるようになる。プロジェクトとして物事を捉え、積極的に取り組むことができる。			
【授業における達成課題】 模擬結婚式、イベントの企画、施行、振返りという一連の流れを学生達自身で行うことが出来る。			
	使用教材	出版社	
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 授業内で行う小テストの得点率（20％）と色彩検定得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	ブライディング パブリシティ コレクション 導入	目的について理解し、これまでの学習成果の振り返りを行い、イベント企画のテーマを設定することができる。
2		
3		
4	企画書作成	テーマに合わせた企画書をチームごとに作成し、魅力的なプレゼンをすることができる。
5		
6		
7	予算作成	当日のシミュレーションをしながら必要な物を考え、予算を作成することができる。
8		
9～30	準備	当日に向けてスケジュールを立てチームで役割分担をしながら準備を行う。 チームで準備を行う上で大切な協調性や報連相を学びながら行うことができる。
30～34	イベント施行	イベントを仲間と協力しながら施工することができる。
35	振り返り	当日を振り返り成果・課題・反省点を出すことができる。
36	ツールマリ 導入	目的について理解し、これまでの学習成果の振り返りを行い、イベント企画のテーマを設定することができる。
37		
38		
39	企画書作成	テーマに合わせた企画書をチームごとに作成し、魅力的なプレゼンをすることができる。
40		
41		
42	予算作成	当日のシミュレーションをしながら必要な物を考え、予算を作成することができる。
43		
53～58	準備	当日に向けてスケジュールを立てチームで役割分担をしながら準備を行う。 チームで準備を行う上で大切な協調性や報連相を学びながら行うことができる。
59	イベント施行	イベントを仲間と協力しながら施行することができる。
60	振り返り	当日を振り返り成果・課題・反省点を出すことができる。

授業シラバス

MC L盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	インターンシップ実習 (インターンシップ実習準備)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 1年
		講師名 (実務経験)	佐々木 萌 (実務経験有 結婚式場勤務経験)
科目時間数 :	22 コマ	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	必修・選択	開講時期 :	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 就業体験を通しての職業意識の確立、サービス業に従事していく上でのホスピタリティー精神の育成を目的とする実習に向けて動機付けや準備を行う			
【ディプロマポリシーとの関連】 1. プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている 3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 実習を通して専門的なスキルと知識を身につけ、実践することができる準備を整える			
【授業における達成課題】 接客の基本を身につけ、実践的な場面において適切な対応ができる準備を整える			
	使用教材		出版社
	目標設定シート 実習日誌		
【事前学習】			
【成績評価の方法・基準】 実習評価 勤務状況			
【備考】			

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	オリエンテーション	インターンシップの動機付けおよび目標設定を行う
2	業界研究	サービス業界の全体像を掲示し業界の種類を知ることができる
3		
4		
5		
6	企業研究	実際に実習する企業の情報を収集しイメージを膨らませ資料にまとめることができる
7		
8		
9		
10	履歴書の準備	実際に実習する企業宛てに履歴書を作成する
11		
12		
13	リクルート写真撮影	履歴書に添付する写真を身だしなみを整えて撮影することができる
14	実習先研究	実際に実習する企業の情報を収集しプレゼン資料にまとめ発表の準備を行うことができる
15		
16		
17	実習先発表	実際に実習する企業の情報をクラスの前でプレゼンすることができる
18		
19	直前準備	実習前に目標シートの確認と実習先での注意事項を確認する
20	実習後のフィードバック	実習後の自身の振り返りを行い課題発見につなげることができる
21		
22		

授業シラバス

MC L盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	インターンシップ実習 (サービス実践)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 1年
		講師名 (実務経験)	鱒沢 貴史 (実務経験有 ホテル勤務経験)
科目時間数：	12	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 タイミングよくサービスすることなどその状況に臨機応変に対応していかなければいけない現場でスムーズにサービスを行うために基本動作を身につけ、お客様に安心を与えられるようになる。			
【ディプロマポリシーとの関連】 1. プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている 3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 笑顔・丁寧な話し方・清潔な身だしなみを心がけ、基本的なサービス技術を身につける。			
【授業における達成課題】 単元ごとに実技試験を行い、チェック項目を設け評価する。制限時間内に終了できる。			
	使用教材	出版社	
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 筆記試験 授業態度 実技試験			
【備考】			

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	orientation	什器備品の説明
2	接客サービス	正しい姿勢でお客様をお迎えし、お席まで案内・着席の補助をスムーズに行うことができる。
3		
4		
5		メニューの提示・お水のサービス・注文の受け方を正しく行うことができる
6		お迎え～注文までスムーズに行うことができる
7		注文に応じたテーブルセッティング・パンのサービス・料理のサービスができるようになる
8		
9		スープのサービス・プラッターによるサービスができるようになる
10		済んだ皿を正しく下げることができる・コーヒー・紅茶のサービスができるようになる
11		お客様の見送り、バッシング、リセットがスムーズにできるようになる
12	試験	期末テストで80点以上が取れる

授業シラバス

MC L盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	インターンシップ実習 (ホテルインターンシップ実習)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 1年
		講師名 (実務経験)	佐々木 萌 (実務経験有 結婚式場勤務経験)
科目時間数：	150	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 就業体験を通しての職業意識の確立、ホテル業に従事していく上でのホスピタリティー精神の育成を目的とする。			
【ディプロマポリシーとの関連】 1. プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている 3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 実習を通して専門的なスキルと知識を身につけ、実践することができる。			
【授業における達成課題】 接客の基本を身につけ、実践的な場面において適切な対応ができる。			
	使用教材	出版社	
	目標設定シート 実習日誌		
【事前学習】			
【成績評価の方法・基準】 実習評価 勤務状況			
【備考】			

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	オリエンテーション	インターンシップの動機付けおよび目標設定。
2～149	実習	専門スキル・知識を習得し、ゲストに対応することができる。 スタッフと協力しゲストに対応することができる。 サービス業界の仕事のやりがいや大変さの理解を深めることができる。
150	インターンシップ 振り返り	専門スキル・知識を習得し、ゲストに対応することができる。 スタッフと協力しゲストに対応することができる。 サービス業界の仕事のやりがいや大変さの理解を深めることができる。

授業シラバス

MC L盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	インターンシップ実習 (業界インターンシップ実習)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 1年
		講師名 (実務経験)	千葉 綾子 (実務経験有 結婚式場勤務経験)
科目時間数 :	33	コマ	授業の種類 :
必修・選択の別 :	必修・選択	開講時期 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
前期・後期・集中			
【授業の目的・ねらい】			
就業体験を通しての職業意識の確立、ブライダル業に従事していく上でのホスピタリティー精神の育成を目的とする。			
【ディプロマポリシーとの関連】			
1. プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している			
2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている			
3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】			
実習を通して専門的なスキルと知識を身につけ、実践することができる。			
【授業における達成課題】			
接客の基本を身につけ、実践的な場面において適切な対応ができる。			
	使用教材	出版社	
	目標設定シート 実習日誌		
【事前学習】			
【成績評価の方法・基準】			
実習評価 勤務状況			
【備考】			

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	オリエンテーション	インターンシップの動機付けおよび目標設定。
2～32	実習	専門スキル・知識を習得し、ゲストに対応することができる。 スタッフと協力しゲストに対応することができる。 サービス業界の仕事のやりがいや大変さの理解を深めることができる。
33	インターンシップ 振り返り	専門スキル・知識を習得し、ゲストに対応することができる。 スタッフと協力しゲストに対応することができる。 サービス業界の仕事のやりがいや大変さの理解を深めることができる。

授業シラバス

MCL盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	基礎教養 I (PC)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 1年	
		講師名（実務経験）	千葉 洋喜（実務経験有）	
科目時間数：	12	コマ	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】				
様々なビジネス場面において必要となるMicrosoft社ソフトウェアの基礎を理解し、実活用できる。				
【ディプロマポリシーとの関連】				
1. プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している				
2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている				
3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している				
【授業全体の目標】				
ワープロソフト (Word)、表計算ソフト (Excel)、プレゼンテーションソフト (PowerPoint) を使用し、ビジネス場面に応じた文書や資料データを効率的に作成することができる。				
【授業における達成課題】				
学習項目に関する基本操作ができ、プリント実習問題や作成課題を概ね完成することができる。				
		使用教材	出版社	
		自作プリント		
【事前学習】				
学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。				
【成績評価の方法・基準】				
授業内で行う小テストの得点率（20％）と定期試験得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。				
【備考】				

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	オリエンテーション	PCの基本操作、ファイル管理、セキュリティを理解する
2	Word基礎①	文字入力、段落設定をすることができる
3	Word基礎②	表・画像の挿入をすることができる
4	Word応用①	報告書・案内文の作成をすることができる
5	Word応用②	ビジネス文書の体裁調整をすることができる
6	Word課題	チラシ・案内文の作成課題の提出
7	PowerPoint基礎①	スライド作成、デザイン設定をすることができる
8	PowerPoint基礎②	図形・グラフの挿入をすることができる
	PowerPoint応用①	アニメーションの設定をすることができる
9	PowerPoint応用②	スライド構成の工夫ができる
10	PowerPoint課題	プレゼン資料作成の提出
11	Excel基礎①	表作成、SUM・AVERAGE関数を理解、使用することができる
	Excel基礎②	書式設定、セルの操作をすることができる
12	前期末課題	11～13週の学習項目に関する作成課題（紹介プレゼンテーションデータ）について制限期間内に概ね完成し発表することができる。

授業シラバス

MC L盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	基礎教養Ⅰ (キャリアビジョン)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 1年
		講師名 (実務経験)	千葉 綾子 (実務経験有)
科目時間数：	15 コマ	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】			
就職活動の準備や対策を通して、適切な就業観を養いながら、就職等の進路を決定する。			
【ディプロマポリシーとの関連】			
1. プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している			
2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている			
3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】			
自己分析や企業研究を段階的に行い、応募書類の作成や就職試験で成果を出すことができる。			
【授業における達成課題】			
就職活動に必要な履歴書やエントリーシートを計画的に作成することができる。			
	使用教材	出版社	
【事前学習】			
学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】			
授業内で行う小テストの得点率（20％）と定期試験得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	オリエンテーション	就職の意義や職業観について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
2	自己分析①	自分の行動や考え方の長所・短所について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
3	自己分析②	他者から見た自分の期待値と評価について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
4	自己分析③	自分の頑張ったところや学び得たことについて、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
5	将来ビジョンの組み立て①	アイドマ理論に基づいた人生の振返りについて、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
6	将来ビジョンの組み立て②	将来ビジョン（夢）の立て方について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
7	企業研究①	業界の研究や分析手法について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
8	企業研究②	企業の研究や他者比較について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
9	企業研究③	自分の学科・保有資格・能力と関連する仕事について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
10	就職活動計画	就職スケジュールの立て方や企業選択について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
11	応募書類作成	応募書類の書き方やポイントについて、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。実際に就職活動に必要な履歴書やエントリーシートを計画的に作成することができる。
12	会社説明会やOBOG訪問	会社説明会参加時のポイントやOBOG訪問のポイントについて、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
13	作文・筆記試験対策	作文試験のポイントや筆記試験の概要及びポイントについて、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。実際の試験問題を収集し、就職試験の対策として取り組むことができる。
14	面接試験対策①	面接試験の分類やポイント及び対策方法について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。実際の面接練習では、分かりやすく説明や受応えをすることができる。
15	面接試験対策②	面接試験の分類やポイント及び対策方法について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。実際の面接練習では、分かりやすく説明や受応えをすることができる。

授業シラバス

M C L 盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	基礎教養Ⅰ (就職対策)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 1年
		講師名 (実務経験)	千葉綾子 (実務経験有)
科目時間数：	20	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】			
就職活動の準備や対策を通して、適切な就業観を養いながら、就職等の進路を決定する。			
【ディプロマポリシーとの関連】			
1. プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している			
2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている			
3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】			
自己分析や企業研究を段階的に行い、応募書類の作成や就職試験で成果を出すことができる。			
【授業における達成課題】			
就職活動に必要な履歴書やエントリーシートを計画的に作成することができる。			
	使用教材	出版社	
【事前学習】			
学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】			
授業内で行う小テストの得点率（20％）と定期試験得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	オリエンテーション	就職の意義や職業観について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
2	自己分析①	自分の行動や考え方の長所・短所について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
3	自己分析②	他者から見た自分の期待値と評価について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
4	自己分析③	自分の頑張ったところや学び得たことについて、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
5	将来ビジョンの組み立て①	アイドマ理論に基づいた人生の振返りについて、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
6	将来ビジョンの組み立て②	将来ビジョン（夢）の立て方について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
7	企業研究①	業界の研究や分析手法について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
8	企業研究②	企業の研究や他者比較について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
9	企業研究③	自分の学科・保有資格・能力と関連する仕事について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
10	就職活動計画	就職スケジュールの立て方や企業選択について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
11	応募書類作成	応募書類の書き方やポイントについて、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。実際に就職活動に必要な履歴書やエントリーシートを計画的に作成することができる。
12	会社説明会やOBOG訪問	会社説明会参加時のポイントやOBOG訪問のポイントについて、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
13	作文・筆記試験対策	作文試験のポイントや筆記試験の概要及びポイントについて、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。実際の試験問題を収集し、就職試験の対策として取り組むことができる。
14～18	面接試験対策①	面接試験の分類やポイント及び対策方法について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。実際の面接練習では、分かりやすく説明や受応えをすることができる。
19～20	面接試験対策②	面接試験の分類やポイント及び対策方法について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。実際の面接練習では、分かりやすく説明や受応えをすることができる。

授業シラバス

M C L 盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルビジネス概論Ⅱ (婚礼衣装)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 2年
		講師名（実務経験）	鳥居 薫 (実務経験有 婚礼衣装会社勤務経験)
科目時間数：	15 コマ	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 婚礼衣装の知識を付け衣装業界で活躍できるようになる。			
【ディプロマポリシーとの関連】 ① プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている 3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 婚礼衣装、日本の文化衣装の基本を習得し接客スキルを身に付け実践できるようになる。			
【授業における達成課題】 婚礼衣装の基本的知識を身につけ、実践的場面において適切な対応ができる。			
	使用教材	出版社	
	各項プリント	イワテブライダルセンター、全日本ブライダル教会	
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 授業内で行う小テストの得点率（20％）と色彩検定得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			
コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	

1	オリエンテーション	授業全体の目標を確認する。コミュニケーションを理解し説明することができる
2	洋装基本的知識 (新郎新婦)	洋装の基本的知識を学び、次項の実習に活かせるように身につけることができる
3	和装基本的知識 (新郎新婦)	和装の基本的知識を学び、次項の実習に活かせるように身につけることができる
4	一般参列者 一般着物、TP0	一般着物のTP0を学び社会に出た時の基本的常識を身に付けることができる
5～6	洋装実習	ドレスフィッティング、ドレスの種類の理解、メンテナンス、裁縫、アテンドの仕方、メンズタキシードの採寸を理解できる
6～7	和装実習	着物のたたみ方、着付け(着物を着せるまで)、着物の種類、アテンドの仕方を学び実践することができる
8～9	コーディネート実習	シーンに合わせたドレス選びとコーディネート。骨格に合わせたドレス選び、それに合わせた接客トークをすることができる
9～10	総合実習	各実習で学んだ中から、自身でより練習実習したい項目を選び、目的が同じ仲間によりハイレベルな技術を習得することができる
11～12	ブライダルスタイリストになるために	ブライダルスタイリストの心構え、最近のブライダルファッションの傾向を学びグループワークで実践することができる
13～15	実演・展示	和装花嫁のお支度～仕上りを実演展示。ウォーキング、立ち居振る舞いをドレスショーの映像をもとに学び習得することができる

授業シラバス

M C L 盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルビジネス概論Ⅱ (ブライダルコーディネーター技能 検定)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 2年
		講師名 (実務経験)	佐々木 萌 (実務経験有 結婚式場勤務経験)
科目時間数：	40	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 就婚礼業界の幅広い知識を学び婚礼業界で活躍できるようになる。			
【ディプロマポリシーとの関連】 1. プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている 3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 実ブライダルコーディネーターとして必要な幅広い知識(文化、法令、慣習、宗教、儀礼、作法)、専門知識(ブライダルおよびブライダル業界に関すること)を学びお客様への提案につなげることができる。			
【授業における達成課題】 接ブライダルコーディネーター技能検定3級 取得			
	使用教材	出版社	
	ブライダルコーディネーターテキスト	公益財団法人日本ブライダル文化振興協会	
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 筆記試験 授業態度			
【備考】			

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	結婚の定義	結婚の法的意義を学び結婚の条件を説明することができる。
2	日本の結婚式	時代ごとの日本の結婚式の歴史を学び時代の変化を理解することができる。
3	欧米の結婚式	欧米の結婚式の歴史・文化を学び、国ごとの特徴を説明することができる。
4	ブライダルビジネス	ブライダルビジネスの役割、市場規模について理解しブライダルビジネスがもたらす影響を理解することができる。
5	ブライダル業種	ホテル、ゲストハウス、レストランなどの式場スタイルを学びそれぞれの違いを説明することが出来る。
6	ブライダルエリア特性	エリアによる結婚式の文化の違いを理解し、文化の違いを理解することができる。
7	見合い・婚約	見合いの意味、流れにを理解できる。
8	結納・婚約式	結納の仕組み、必要な物を理解し実践することができる。
9	挙式スタイル	キリスト教、人前式、神前式について学び、それぞれの違いを理解することができる。
10	コーディネーター業務	ウェディングプランナーの仕事内容、役割を理解することができる。
11	新規接客	新規接客業務について学び、カップルの会場選定～式場見学の流れを説明することが出来る。
12	ブライダルセールスの特徴	ブライダル商品の特徴を理解しセールス方法を実践することができる。
13	プランニング	新規接客向けのプランニングと成約客向けのプランニングを学びご案内することができる。
14	成約業務	契約内容の確認、成約手続きを理解し人に説明することができう。
15	打合せ業務	打合せの種類、内容を学び、理解することが出来る。
16	衣装選定	衣装の種類、特徴を理解しお客様にご案内することができる。
17	ブーケ・フラワー	ブーケの種類、見え方を理解しお客様に合ったブーケを選ぶことが出来る。
18	ヘアメイク	ヘアメイクの特徴、流行を学び説明することが出来る。
19	会場コーディネート	会場コーディネートの種類、役割を学び、実際にコーディネートすることができる。
20	テーブルコーディネート	テーブルコーディネートを理解し要望に合わせたコーディネートができる。
21	ペーパーアイテム	ペーパーアイテムの種類、注意点を理解し制作することが出来る。

22	料理・飲み物	日本料理、フレンチ、イタリアン、中華などコース料理の流れを理解し説明することが出来る。
23	引出物・引菓子	引出物・引菓子の意味、種類を学び実際に選ぶことが出来る。
24	写真・映像	ブライダルにおける写真・映像の種類・効果を理解し商品を紹介することが出来る。
25	手配業務	手配業務の一連の流れを理解し、自身で行うことが出来る。
26	当日業務	当日業務の一連の流れを理解し、自身で行うことが出来る。
27	過去問題	過去問題を実施し、80%以上の点数を取ることが出来る
28	過去問題	
29	過去問題	
30	過去問題	
31	過去問題	
32	過去問題	
33	過去問題	
34	過去問題	
35	過去問題	
36	過去問題	
37	過去問題	
38	過去問題	
39	過去問題	
40	検定	検定で80%以上の点数を取ることが出来る

授業シラバス

M C L 盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルビジネス概論Ⅱ (フォーマルウェア)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 2年
		講師名 (実務経験)	千葉 綾子 (実務経験有 結婚式場勤務経験)
科目時間数：	6 コマ	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
〔授業の目的・ねらい〕 ブライダル関連業界における婚礼衣装の基礎知識の向上を目的とし、就業後の活躍を目指す。			
〔ディプロマポリシーとの関連〕 ① プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている 3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
〔授業全体の目標〕 ブライダル関連分野で活かせるフォーマル知識を身につけ、実践することができる。			
〔授業における達成課題〕 フォーマルウェアの基本的知識を身につけ、実践的場面において適切な対応ができる。 フォーマルスペシャリスト検定準2級において100%合格できる。			
		使用教材	出版社
		フォーマルブック	日本フォーマル協会
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 授業内で行う小テストの得点率（20％）と色彩検定得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備 考】			
コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	

1	フォーマル検定とは	フォーマル検定の概要説明、及び学習導入
2	メンズ フォーマル	①メンズの昼と夜のフォーマルルール ②正礼装・準礼装・略礼装の違い について理解しチェックテストにおいて90パーセント以上の点数が取れる
3	レディース フォーマル	①レディースの昼と夜のフォーマルルール ②正礼装・準礼装・略礼装の違い チェックテストにおいて90パーセント以上の点数が取れる
4	ブラック フォーマル	①ブラックフォーマルルール ②正礼装・準礼装・略礼装の違い チェックテストにおいて90パーセント以上の点数が取れる
5	冠婚葬祭 フォーマル	①冠婚葬祭フォーマルルール ②正礼装・準礼装・略礼装の違い チェックテストにおいて90パーセント以上の点数が取れる
6	過去問題	過去実施のフォーマル検定過去問題にチャレンジし過去問題に慣れ、單元ごとにチェッ クテストと解説を行う

授業シラバス

MC L盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルビジネス概論Ⅱ (映像編集)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 2年
		講師名 (実務経験)	千葉 洋喜 (実務経験有 商業デザイン会社勤務経験)
科目時間数：	30	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 実践授業においてオリジナルの商品開発からデザインまで編集ソフトを使用してできるようになる			
【ディプロマポリシーとの関連】 ① プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している ② 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている ③ 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 画像配置ソフトイラストレーターと動画編集ソフトプレミアを使用しオリジナルのペーパーアイテムのデザインや編集ができるようになる			
【授業における達成課題】 実践授業において必要となるペーパーアイテムのデザイン作成と動画の編集が出来、オリジナルの作品が制作出来るようになる			
	使用教材	出版社	
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 授業内で行う小テストの得点率（20％）と色彩検定得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備 考】			

コマ	教育に含むべき事項・ テーマ	主な学習内容と到達目標
1	イラストレーター応用 オブジェクトの描写	様々な図形の描画機能を理解し作成することが出来るようになる
2	イラストレーター応用 レイヤーの応用	レイヤーについて理解し、効率的に作業を進めることが出来るようになる
3	イラストレーター応用 パスの編集	パスの機能を理解し自由度の高い文字組み合わせが出来るようになる
4～6	オリジナル招待状作成	illustratorの応用操作を理解しオリジナルの招待状を作成できる
7	プレミア基本操作 操作方法	動画作成ソフトプレミアについて基本の操作方法を理解し編集することが出来る
8～9	プレミア基本操作 データ取り込み	動画や音楽、静止画など様々なデータの種類について理解しプレミアに取り込むことが出来る
10～11	プレミア基本操作 動画の組み立て	プレミアに取り込んだデータを組み立てることが出来る
12～13	プレミア基本操作 応用機能	動画編集においてフェードやピッチなどの応用機能を理解し実践できる
14～15	プレミア基本操作 データ管理	完成した動画を適切な方法で保存でき再生できるようになる
15～28	作品制作 素材作成	これまで学んだことを活かしオリジナル動画を撮影から動画に作成まで一人で出来るようになる
29	プレゼンテーション	自分の作品について用語を使いながら他者にプレゼンテーションができる。
30	振り返り修正	自分の作品について振り返り修正し、完成することが出来る。

授業シラバス

MC L盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルサービス実務Ⅱ (専攻授業 プランナー)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 2年
		講師名 (実務経験)	市川 貴之 (実務経験有 ブライダル企業勤務経験有)
科目時間数：	18 コマ	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 ブライダル業界の幅広い知識を学び婚礼業界で活躍できるようになる。			
【ディプロマポリシーとの関連】 ① プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている 3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 プランナー業務の初級の知識を学び必要な幅広い知識(文化、法令、慣習、宗教、儀礼、作法)、専門知識(ブライダルおよびブライダル業界に関すること)を学びお客様への提案につなげることができる。			
【授業における達成課題】 相手に合う結婚式ををプランニングし提案を行うことのできる			
	使用教材	出版社	
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 授業内で行う小テストの得点率（20％）と定期試験得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	ビジネスモデルを理解しよう	ビジネスモデルを理解しレポートにまとめることができる
2～3	式場建設の話	式場建設について自分の意見をまとめることができる
4～5	集客について考えてみよう	集客方法の種類を学ぶ
6	中間試験	中間試験で80%以上の点数を取ることができる
7～8	営業とはなんでしょう	営業の役割を学びまとめることができる
9～10	打合せについて	打合せに内容について学びまとめることができる
11～12	業績管理も知っておくとよき	業務成績の事情を学びまとめることができる
13	中間試験	中間試験で80%以上の点数を取ることができる
14	組織・機能 役割・制度 とは？	会社の組織についてまとめることができる
15	社内評価・会社のお金の流れについて	社内評価・会社のお金の流れについてまとめることができる
16	期末試験	期末試験で80%以上の点数を取ることができる
17	業界講話	業界で活躍する方の講話を聴きレポートを完成できる
18	業界講話	

授業シラバス

MCL盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルサービス実務Ⅱ (ビジネスワーク)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 2年
		講師名（実務経験）	千葉 綾子 (実務経験有 結婚式場勤務経験)
科目時間数：	10 コマ	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
〔授業の目的・ねらい〕 婚礼衣装の知識を付け衣装業界で活躍できるようになる。			
〔ディプロマポリシーとの関連〕 ① プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている 3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
〔授業全体の目標〕 他者との関わり合いのなかで、自分の意見を表現できるようになる。ビジネスとして物事を捉え、積極的に取り組むことができる。			
〔授業における達成課題〕 今後社会人として自分の意見をまとめ発信することができ お客様や法人相手にプレゼンテーションできるようになる			
	使用教材	出版社	
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 授業内で行う小テストの得点率（20％）と色彩検定得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			
コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	

1	オリエンテーション	授業の目的について理解し、これまでの学習成果の振り返を行い、まとめや説明をしながら、卒業研究テーマを設定することができる。
2	社会人基礎マナー	社会人基礎知識を学び理解することができる
3	企業の組織について	企業の組織について学び理解することができる
4	ディスカッション	ディスカッションの実施方法を学ぶ
5	企画・運営計画	テーマに沿って企画及び計画を立て、運営セクションを決定する。
6		
7	イベント企画準備	セクション毎に企画案・予算案・スケジュールを決め協議、決定事項に沿ってイベント準備を進める。 企画提案・予算の立て方を習得すると共に、イベントの成功イメージを理解し協働で準備を進めることができる。
8		
9		
10	成果発表振り返り	ワーク内容の成果発表会と振り返り

授業シラバス

MCL盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルサービス実務Ⅱ (研修旅行)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 2年
		講師名（実務経験）	千葉 綾子 (実務経験有 結婚式場勤務経験)
科目時間数：	22 コマ	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 婚礼業界の現場を訪れ見学体験を通してブライダル業界で活躍できるようになる。			
【ディプロマポリシーとの関連】 ① プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている ③. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 他者との関わり合いのなかで、自分の意見を表現できるようになる。ビジネスとして物事を捉え、積極的に取り組むことができる。			
【授業における達成課題】 婚礼業界の現場を訪れ見学体験を通してブライダル業界で活躍できるようになる。			
	使用教材	出版社	
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 受講態度を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80%以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			
コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	

1	オリエンテーション	研修旅行の目的について理解し、研修目的を設定することができる。
2～8	研修事前調査	研修先について事前に情報を収集しまとめることができる
9～15	研修準備	研修について準備手配を実施できる
15～20	研修実施	研修に臨む
21～22	研修後振り返り	研修の振り返りをまとめレポートを完成できる

授業シラバス

MCL盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルプロジェクトⅡ (商品化企画)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 2年
		講師名（実務経験）	川村 真央 (実務経験有 結婚式場勤務経験)
科目時間数：	30	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 商品化企画を通して、学習成果の振返りを行いながら、就業先でも活躍することができる。。			
【ディプロマポリシーとの関連】 ① プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している ② 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている ③ 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 他者との関わり合いのなかで、自分の意見を表現できるようになる。プロジェクトとして物事を捉え、積極的に取り組むことができる。			
【授業における達成課題】 商品化企画を導入から振返りという一連の流れを学生達自身で行うことができる。			
	使用教材	出版社	
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 授業内で行う小テストの得点率（20％）と色彩検定得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			
コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	

1	商品化 導入	目的について理解し、これまでの学習成果の振り返りを行い、イベント企画のテーマを設定することができる。
2		
3		
4	企画書作成	テーマに合わせた企画書をチームごとに作成し、魅力的なプレゼンをすることができる。
5		
6		
7	予算作成	当日のシミュレーションをしながら必要な物を考え、予算を作成することができる。
8		
9～28	準備	当日に向けてスケジュールを立てチームで役割分担をしながら準備を行う。 チームで準備を行う上で大切な協調性や報連相を学びながら行うことができる。
29	イベント施行	イベントを仲間と協力しながら施行することが出来る。
30	振り返り	当日を振り返り成果・課題・反省点を出すことが出来る。

授業シラバス

MCL盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルプロジェクトⅡ (ブライダルプロデュース)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 2年
		講師名（実務経験）	千葉 綾子 (実務経験有 結婚式場勤務経験)
科目時間数：	100 コマ	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 模擬結婚式、イベント企画を通して、学習成果の振返りを行いながら、就業先でも活躍することができる。。			
【ディプロマポリシーとの関連】 ① プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている 3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 他者との関わり合いのなかで、自分の意見を表現できるようになる。プロジェクトとして物事を捉え、積極的に取り組むことができる。			
【授業における達成課題】 模擬結婚式、イベントの企画、施行、振返りという一連の流れを学生達自身で行うことが出来る。			
	使用教材	出版社	
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 授業内で行う小テストの得点率（20％）と色彩検定得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			
コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	

1	商品化 導入	目的について理解し、これまでの学習成果の振返りを行い、イベント企画のテーマを設定することができる。
2		
3		
4	企画書作成	テーマに合わせた企画書をチームごとに作成し、魅力的なプレゼンをすることができる。
5		
6		
7	予算作成	当日のシミュレーションをしながら必要な物を考え、予算を作成することができる。
8		
9～30	準備	当日に向けてスケジュールを立てチームで役割分担をしながら準備を行う。 チームで準備を行う上で大切な協調性や報連相を学びながら行うことができる。
30～34	イベント施行	イベントを仲間と協力しながら施行することができる。
35	振返り	当日を振り返り成果・課題・反省点を出すことができる。
36	Thanksプロジェクト 導入	目的について理解し、これまでの学習成果の振返りを行い、イベント企画のテーマを設定することができる。
37		
38		
39	企画書作成	テーマに合わせた企画書をチームごとに作成し、魅力的なプレゼンをすることができる。
40		
41		
42	予算作成	当日のシミュレーションをしながら必要な物を考え、予算を作成することができる。
43		
53～58	準備	当日に向けてスケジュールを立てチームで役割分担をしながら準備を行う。 チームで準備を行う上で大切な協調性や報連相を学びながら行うことができる。
59	イベント施行	イベントを仲間と協力しながら施行することができる。
60	振返り	当日を振り返り成果・課題・反省点を出すことができる。
61	卒業研究 導入	目的について理解し、これまでの学習成果の振返りを行い、イベント企画のテーマを設定することができる。
62		
63		
64	企画書作成	テーマに合わせた企画書をチームごとに作成し、魅力的なプレゼンをすることができる。
65		
66		
67	予算作成	当日のシミュレーションをしながら必要な物を考え、予算を作成することができる。
68		
69～98	準備	当日に向けてスケジュールを立てチームで役割分担をしながら準備を行う。 チームで準備を行う上で大切な協調性や報連相を学びながら行うことができる。
99	イベント施行	イベントを仲間と協力しながら施行することができる。
100	振返り	当日を振り返り成果・課題・反省点を出すことができる。

授業シラバス

MCL盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルプロジェクトⅡ (プロジェクトミッション)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 2年
		講師名（実務経験）	佐々木 萌 (実務経験有 結婚式場勤務経験)
科目時間数：	33 コマ	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】 模擬結婚式、イベント企画、ボランティア等を通して、学習成果の振返りを行いながら、就業先でも活躍することができる。。			
【ディプロマポリシーとの関連】 ① プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している 2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている 3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】 他者との関わり合いのなかで、自分の意見を表現できるようになる。プロジェクトとして物事を捉え、積極的に取り組むことができる。			
【授業における達成課題】 模擬結婚式、イベントの企画、施行等、プロジェクトの振返りという一連の流れを学生達自身で行うことが出来る。			
	使用教材	出版社	
【事前学習】 学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】 授業内で行う小テストの得点率（20％）と色彩検定得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			
コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	

1	プロジェクトミッション導入	目的について理解し、これまでの学習成果の振り返りを行い、プロジェクトミッション企画の計画を設定することができる。
2		
3		
4～32	ミッション活動	当日に向けてスケジュールを立てチームで役割分担をしながら準備を行う。 チームで準備を行う上で大切な協調性や報連相を学びながら行うことができる。
33	振り返り	当日を振り返り成果・課題・反省点を出すことができる。

授業シラバス

M C L 盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	ブライダルプロジェクトⅡ (卒業研究)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 2年
		講師名（実務経験）	千葉 綾子 (実務経験有 結婚式場勤務経験)
科目時間数：	40 コマ	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修・選択	開講時期：	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】			
卒業研究を通して、学習成果の振返りを行いながら、就業先でも活躍することができる。。			
【ディプロマポリシーとの関連】			
① プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している			
② 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている			
③ 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】			
他者との関わり合いのなかで、自分の意見を表現できるようになる。プロジェクトとして物事を捉え、積極的に取り組むことができる。			
【授業における達成課題】			
卒業研究を導入から振返りという一連の流れを学生達自身で行うことができる。			
	使用教材	出版社	
【事前学習】			
学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】			
授業内で行う小テストの得点率（20％）と色彩検定得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備 考】			
コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	

1	卒業研究 導入	目的について理解し、これまでの学習成果の振り返りを行い、イベント企画のテーマを設定することができる。
2		
3		
4	企画書作成	テーマに合わせた企画書をチームごとに作成し、魅力的なプレゼンを行うことができる。
5		
6		
7	予算作成	当日のシミュレーションをしながら必要な物を考え、予算を作成することができる。
8		
9～30	準備	当日に向けてスケジュールを立てチームで役割分担をしながら準備を行う。 チームで準備を行う上で大切な協調性や報連相を学びながら行うことができる。
30～38	イベント施行	イベントを仲間と協力しながら施工することができる。
39～40	振り返り	当日を振り返り成果・課題・反省点を出すことができる。

授業シラバス

MC L盛岡外語観光&ブライダル専門学校

科目名	基礎教養Ⅱ (就職対策)	学科名・学年	ブライダルビジネス科 2年
		講師名 (実務経験)	千葉綾子 (実務経験有)
科目時間数 :	17	授業の種類 :	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 :	必修・選択	開講時期 :	前期・後期・集中
【授業の目的・ねらい】			
就職活動の準備や対策を通して、適切な就業観を養いながら、就職等の進路を決定する。			
【ディプロマポリシーとの関連】			
1. プランナー、衣装、装花等の多様な専門分野に活かすことができる幅広い婚礼知識を理解している			
2. 人の為に働くことにやりがいを感じ、社会人基礎力としてのビジネスマナーを身に付けている			
3. 物事を企画・判断・対応できるチームワークを軸とした協働作業の重要性を理解している			
【授業全体の目標】			
自己分析や企業研究を段階的に行い、応募書類の作成や就職試験で成果を出すことができる。			
【授業における達成課題】			
就職活動に必要な履歴書やエントリーシートを計画的に作成することができる。			
	使用教材	出版社	
【事前学習】			
学習予定事項・テーマを予め確認し、情報収集をしておく。			
【成績評価の方法・基準】			
授業内で行う小テストの得点率（20％）と定期試験得点率（50％）、並びに受講態度（30％）を重視する。また、前述の評価項目が全て「可」以上であることと、出席率が80％以上であることも単位取得の条件とする。			
【備考】			

コマ	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
1	オリエンテーション	就職の意義や職業観について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
2	自己分析①	自分の行動や考え方の長所・短所について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
3	自己分析②	他者から見た自分の期待値と評価について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
4	自己分析③	自分の頑張ったところや学び得たことについて、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
5	将来ビジョンの組み立て①	アイドマ理論に基づいた人生の振返りについて、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
6	将来ビジョンの組み立て②	将来ビジョン（夢）の立て方について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
7	企業研究①	業界の研究や分析手法について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
8	企業研究②	企業の研究や他者比較について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
9	企業研究③	自分の学科・保有資格・能力と関連する仕事について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
10	就職活動計画	就職スケジュールの立て方や企業選択について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
11	応募書類作成	応募書類の書き方やポイントについて、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。実際に就職活動に必要な履歴書やエントリーシートを計画的に作成することができる。
12	会社説明会やOBOG訪問	会社説明会参加時のポイントやOBOG訪問のポイントについて、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。
13	作文・筆記試験対策	作文試験のポイントや筆記試験の概要及びポイントについて、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。実際の試験問題を収集し、就職試験の対策として取り組むことができる。
14～15	面接試験対策①	面接試験の分類やポイント及び対策方法について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。実際の面接練習では、分かりやすく説明や受応えをすることができる。
16～17	面接試験対策②	面接試験の分類やポイント及び対策方法について、情報収集や講義を通して理解し、説明できる。実際の面接練習では、分かりやすく説明や受応えをすることができる。